

「食道癌手術症例における周術期の栄養評価の検討」に関する研究

1. 研究の対象

2010年4月1日から2023年12月31日まで当院で食道癌に対して手術を受けられた方または受けられる方

2. 研究目的・方法

食道癌の手術侵襲は大きく、また術後合併症により栄養状態は大きく変動します。術後の栄養低下によりその後の治療、生活の質（Quality of life、以下 QOL）の低下に影響すると考えられます。そのため術前術後の栄養の把握が必要です。

本研究は当院で行った食道癌に対する食道切除症例の術前と術後の栄養評価を検討します。術後の QOL を維持するための必要な栄養に関連する因子を把握するために検討を行います。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報；診療録を参考にします。

手術時の年齢、性別、病歴

術前、術後1か月、3か月、6か月、12か月に行った血液検査

手術術式、手術出血量、手術時間、術後合併症の有無、入院期間

手術前後に行った抗癌剤、放射線治療内容、測定した InBody の結果

再発の有無、再発までの期間 生存の有無、

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究責任者：

川崎医科大学 消化器外科学 窪田 寿子

岡山県倉敷市松島577

086-462-1111 内線 26503

5. 利益相反

本研究において結果に影響を及ぼしかねない資金の受入、使用はありません。
また、本研究は資金を必要としておりません。この内容を利益相反委員会に申請し適正に管理されています。